

—2012年からの被災地継続支援—

被災地中学生が「総合的な学習」
の授業で生産するわかめの
販売実習指導として「わかめ
販売の心得」の授業を
ファミリーマート社員が実施

～2015年9月15日・10月15日実施～



「地域の宝、わかめで地元を元気に！」

岩手県大船渡市にある末崎中学校2年生の皆さんが養殖から販売まで一貫して行う体験型の総合的な学習の中で、わかめを販売する際の接客の方法や売るためのコツを教える授業を、2015年もファミリーマートの社員が実施しました。

震災により、一度は養殖施設そして大切に育てたわかめすべて流されてしまいましたが、それを乗り越え取り組みを再開した生徒の皆さんの力になればと、ファミリーマートは2012年から「挨拶や接客、販促物の作成」など販売の心構えを伝授しています。

生徒の皆さんは、2班に分かれて盛岡市内の商店街で精力的に販売を行い、販売予定数718袋を今年も見事に完売しました！

9月15日

陳列方法や売するためのコツ・接客マナーを学習！



自分たちで養殖し、パッケージした自慢の「ふれあいわかめ」。そのおいしさを知ってもらい、買ってもらうためにはどうすればいいのか…。自分たちの育てたわかめが売れることを楽しみにしながらも、初めての「販売」ということもあり、お客さまと接することが不安そうな生徒の皆さん。そんな不安を取り除くようにファミリーマートのスーパーバイザーが「商品の魅力をお客さまに最大限に伝える」手書きPOPの作り方を伝授しました。早速教わった内容に基づいてPOPを作成する生徒たち。さっきまでの緊張もほぐれてなんだかとても楽しそうです。

自分たちの作ったPOPを、前に出て発表していきます。少し照れながらも一所懸命自分で書いたPOPをアピールしてくれました。皆さん、とっても上手く作れました！！



北上営業所 阿部スーパーバイザーの説明する「手書きPOP」の作り方に聞き入る末崎中学校の皆さん。



教わったことに自らのアイデアを加えて、わかめを買っていただくために一生懸命作りました！



POPづくりに猿田営業所長と小熊スーパーバイザーも声をかけながらアドバイス。



出来上がったPOPを披露！自分たちのわかめを買ってもらうため一生懸命PRします。

つぎは、いよいよ接客の練習！接客の基本はやはり笑顔です。



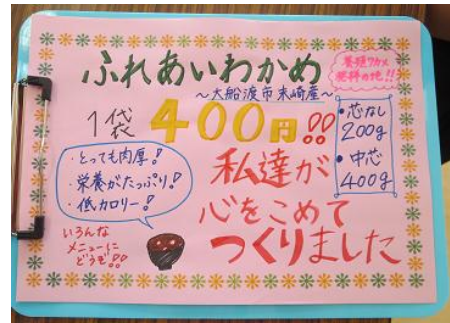
「いらっしゃいませ。こんにちは」「ありがとうございました。またお越しくださいませ」と唱和し、挨拶の練習も行いました。また、生徒の皆さんが売り手とお客さま役に分かれ、販売の実習も体験しました。お金を受け取る、商品をお渡しする、おつりをお渡しする…最初はぎこちなかった皆さんも、練習を重ね笑顔で「いらっしゃいませ！」の声も出せるようになりました。あとは本番当日の販売実習を待つばかりです！



まずはいい笑顔をつくるため、顔をほぐします。意識して笑顔をつくるのって意外と大変！



皆の前で練習の成果を発表し、良いところを皆で共有しました。



メッセージに思いを込めた手づくりPOP

＜末崎中学校 千葉校長先生より＞

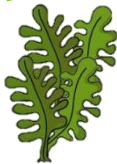
この2年生の総合学習は、「海と生きる」をテーマに「わかめ養殖漁業発祥の地」で“わかめの養殖から販売まで”を一貫して関わることのできる、とても重要なプログラムとなっています。ファミリーマートさんには、販売の心構えから売り方など実践演習を交えながら、とても良い授業プログラムを組んでいただき、わかめの養殖から盛岡での販売実習に直結する学習ができました。生徒たちにとっては、将来の職業を考える良い機会にもなりました。



10月15日

盛岡市内2ヶ所で販売し、予定販売数718袋を見事に完売！

販売
実習



販売日当日、盛岡市内2ヶ所で生徒の皆さんは2班に分かれて、販売実習を体験。授業で作成したPOPを貼って、自慢の「ふれあいわかめ」をきれいに陳列。自分たちでつくったチラシを大きな声で配布して歩いたおかげで、たくさんの方に来てもらえました。みんなで協力しながら頑張った成果があり、販売予定数の718袋は見事に完売！



作成したPOPも工夫して展示。



陳列もきれいにできました。



さあ、いよいよ販売のスタートです！



「どうやって食べるの？」というお客さまのためにレシピも用意。



「私たちがつくった“わかめ”いかがですか〜」という声に、沢山のお客さまが来てくださいました。



お客さまが受け取りやすいよう、レジ袋の持ち手をそろえてお渡します。



遠方からわざわざ足を運んでくれた方もいました。



718袋すべて完売しました！お疲れ様でした！

<生徒の皆さんより>



たくさんの方に「頑張ってるね！」と声をかけてもらって、とても嬉しかった。売るだけじゃなく、笑顔でお客さんと会話しながら販売できて楽しかったです。将来仕事について時このことを思い出して接客したいです。



物を売るときには商品の並べ方や言葉遣い・ポップ・笑顔など細かいところまで気を配り、お客さまに良い思い出をしていただけるようにたくさんの方のことを心掛けていることを学びました。

自分たちが養殖し、販売したわかめが売れていくことの楽しさを身をもって経験した生徒の皆さん。自信と誇りに満ちあふれたとてもいい笑顔が、地元の復興の様子も一緒に伝えてくれています。

これからもファミリーマートはCSR活動の一環として、未来を担う子どもたちや生徒の皆さんの健全な成長のために「次世代支援」のさまざまな取り組みをすすめてまいります。